

給食—6年生とともに—

校長 田中 準三

若宮小学校に赴任してやがて1年が過ぎようとしています。本当に早いですね。その間、保護者・地域の皆様には学校をしっかりと支えていただきました。心より感謝申し上げますとともに、来年度もよろしくお願いいたします。

学校日より「わかみやっ子」もいよいよ今年度の最終号となります。2月の始めから、6年生のそれぞれの学級の子どもたちとグループごとに校長室で給食を一緒に食べています。給食を私と食べることはもちろんのこと、初めて校長室に入ったという子たちも結構います。最初は少し緊張していた子どもたちでしたが、やがて気持ちもほぐれてきて、いろんな話をしてくれるようになりました。どの子たちにも「将来なりたいもの」を尋ねていますが、男子はダントツでスポーツ選手が多いです。女子ではパティシエや保育士、中には歌手になりたいといった子など結構バラエティーに富んでいます。ただ、まだまだそこまでの思いのない子たちも多かったのも事実で、「フリーターでなければいい」といった超現実的(?)な考えの子までいました。

普段見ることのない校長室だけに、興味津々のようで、食べ終わったあとは中の様子をなめ回すように観察していましたが、特にたくさんの子が関心を示したのが、レトロ調の金庫(写真参照)です。備品台帳で調べると昭和39年の購入で、当時の価格で5万円(今だと、30万円ぐらいでしょうか・・・)でした。若宮小に赴任してきて私の目に真っ先に入ったのも、この金庫でした。こんなに古い金庫をみるのは初めてでした。「中に何が入っているの?」当然ながら子どもたちの質問はそこに集中しますが、実はたいしたものも全く入っていません。(写真では分かりにくいですが、そんなに大きなものではなく、ある意味無用の長物なのです。)

子どもたちと話をしていると、私も若返った気がしてとても楽しいです。卒業まであとわずか、最後まで小学校での楽しい「思い出づくり」に努めてほしいです。もちろん他の学年の子どもたちも新しい学年にむけて「今」を大切にしてほしいことは言うまでもありません。



子どもたちの注目の的も金庫